

令和 5 年 9 月 22 日 議会運営委員会 議事録
13時00分 開会

○出席委員 (6 人)

委員長 西村 一啓

副委員長 日域 究

委員 山代 英資、藤川 和弘、小田上 尚典、細川 雅子

議長 北地 範久

副議長 寺岡 公章

○欠席委員 なし

○西村委員長 定足数に達していますので、ただいまから議会運営委員会を開催します。

市長がお見えですので、御挨拶をお願いします。

市長。

○入山市長 議会運営委員会開催ありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

○西村委員長 それでは、議事日程にしたがいまして議事を進めてまいりたいと思います。

日程 1、議案の取り扱いについてを議題といたします。

執行部から、議案（その 3）の概要について説明をお願いいたします。説明が長くなる場合は座って説明していただいても構いません。

総務部長。

○佐伯総務部長 それでは、議案の概要（その 3）に沿って御説明をいたしますが、このたびの議案は令和 4 年度決算に関連する議案となります。

それでは、認第 7 号令和 4 年度大竹市一般会計決算でございます。

歳入総額の 174 億 954 万 9,127 円に対しまして、歳出総額は 166 億 7,481 万 1,901 円で、差し引き 7 億 3,473 万 7,226 円の黒字となりました。ここから翌年度に繰り越すべき財源である 6 億 4,183 万 309 円を差し引いた 9,290 万 6,917 円のうち、5,000 万円を財政調整基金に繰り入れ、残りの 4,290 万 6,917 円を令和 5 年度に繰り越しをいたしました。

続きまして、認第 8 号令和 4 年度大竹市国民健康保険特別会計決算でございます。

歳入総額の 29 億 3,642 万 3,517 円に対しまして、歳出総額は 29 億 1,695 万 8,535 円で、差し引き 1,946 万 4,982 円の黒字となりました。このうち 980 万円を国民健康保険財政調整基金に繰り入れ、残りの 966 万 4,982 円を令和 5 年度に繰り越しをいたしました。

続きまして、認第 9 号令和 4 年度大竹市漁業集落排水特別会計決算でございます。

歳入総額、歳出総額ともに 3,220 万 7,572 円であり、差引額は 0 円でございます。

続きまして、認第 10 号令和 4 年度大竹市農業集落排水特別会計決算でございます。

歳入総額、歳出総額ともに 4,083 万 8,406 円であり、差引額は 0 円でございます。

続きまして、認第 11 号令和 4 年度大竹市港湾施設管理受託特別会計決算でございます。

歳入総額の 7,597 万 2,016 円に対しまして、歳出総額は 4,991 万 1,202 円で、差し引き 2,606 万 814 円の黒字となりました。

続きまして、認第12号令和4年度大竹市土地造成特別会計決算でございます。

歳入総額の2億1,557万5,620円に対しまして、歳出総額は8億6,595万2,087円で、差し引き6億5,037万6,467円の歳入不足となりました。なお、この歳入不足については、翌年度の歳入を繰り上げて充用いたしております。

続きまして、認第13号令和4年度大竹市介護保険特別会計決算でございます。

歳入総額の27億279万6,178円に対しまして、歳出総額は26億7,358万7,128円で、差し引き2,920万9,050円の黒字となりました。このうち、1,323万1,634円を介護給付費準備基金に繰り入れ、残りの1,597万7,416円を令和5年度に繰り越しました。

続きまして、認第14号令和4年度大竹市後期高齢者医療特別会計決算でございます。

歳入総額の5億2,623万5,673円に対しまして、歳出総額は5億2,398万7,145円で、差し引き224万8,528円の黒字となりました。

続きまして、報告第7号令和4年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてでございます。

内容についてですが、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項及び第22条第1項の規定により、令和4年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率について、報告するものでございます。

最初に、1の令和4年度決算における健全化判断比率報告書でございます。実質赤字比率及び連結実質赤字比率につきましては、いずれも赤字額がないため、記載すべき数値はございません。実質公債費比率は13.5%となっており、令和3年度決算と比較して0.3ポイントの減少となっています。将来負担比率は123.1%となっており、令和3年度決算と比較して13.7ポイントの減少となっております。

なお、4つの健全化判断比率はいずれも早期健全化基準以下となっております。参考としまして、4ページ目に令和元年度以降の健全化判断比率の推移を表した表を掲載しておりますので、御参照ください。

続きまして、4ページの2になります。令和4年度決算における資金不足比率報告書の総括表として、令和4年度決算における公営企業ごとの資金不足比率を記載しております。

水道事業会計、工業用水道事業会計、公共下水道事業会計、農業集落排水特別会計、漁業集落排水特別会計及び土地造成特別会計のいずれの会計においても、資金不足額はないため、記載すべき数値はございません。

説明は以上でございます。議案の取り扱いについてよろしくお願いいたします。

○西村委員長 ただいま執行部から議案についての説明がございました。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 質疑なしと認めます。

それでは、取り扱いについて事務局から説明をお願いいたします。

局長。

○山田議会事務局 それでは、取り扱いについて事務局案を御説明申し上げます。

いずれの議案等につきましても、本会議最終日の上程と考えております。

まず、認第7号令和4年度大竹市一般会計決算から認第14号令和4年度大竹市後期高齢者医療特別会計決算にいたる8件につきましては、一括上程後、提案理由の説明を受け、決算審査について監査委員から報告を受けます。

その後、一括質疑。続いて、この後、日程3で御説明をいたしますが、決算特別委員会の設置、議案の付託、閉会中の継続審査とすることを決定していただきまして、委員の指名と考えております。

次に、報告第7号でございますが、財政健全化法の規定により、執行部から健全化判断比率等の報告を受けることになろうかと考えております。

以上です。

○西村委員長 ただいま事務局から議案の取り扱いの説明がございました。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 質疑がないようでございます。

お諮りをいたします。本件の取り扱いについて、事務局案のとおり決して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

続きまして、日程2、議案の提出についてを議題といたします。

選第5号選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について、事務局から説明をお願いいたします。

局長。

○山田議会事務局長 選第5号について御説明申し上げます。

本件につきましては、9月1日付で選挙管理委員会から選挙管理委員会委員及び同補充員について、10月24日に任期満了となる旨の通知が届いております。

このことを受けまして、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定により、市議会において選挙管理委員会委員4名と同補充員4名の選挙を、定例会最終日に行うものでございます。

前例としましては、議長が指名する指名推選の方法をとっております。推選を行うものの名簿をサイドボックスに掲載しております。委員4名につきましては、現職の3名の方と現在の補充員の方1名を推選いたします。

このほか、現在の補充員の退任等もありましたので、補充員が3名欠員となるため、新たに3名の補充員についても推選するものでございます。

簡単に略歴を御紹介させていただきます。

まず、三上博士氏でございますが、平成22年3月に大竹市上下水道局長を退職された後、平成25年9月から平成29年3月まで社会福祉協議会事務局長を務められました。

平成23年10月から補充員として名簿登載され、平成28年8月から委員に就任されております。

次に、松崎光信氏でございますが、平成22年9月に外資系医薬品企業を退職された後、

平成25年12月からは後原地区民生委員を務められておられます。

平成23年10月から補充員として名簿登載され、令和元年10月から委員に就任されています。

次に、畠中和樹氏でございますが、平成25年3月に廿日市中学校長を退職された後、平成27年4月から本市行政相談員を務められておられます。

平成27年10月から補充員として名簿登載され、令和元年10月から委員に就任されています。

次に、薬師堂峰明氏でございますが、平成29年3月に三菱レイヨン株式会社AN事業部長を退職された後、令和4年9月まで三菱ケミカル株式会社大竹事業所、企画管理部に勤めておられました。

令和5年4月から小方地区社会福祉協議会理事を務めておられます。令和元年10月から補充員として名簿登載されております。

続いて、補充員でございます。

まず、池上宏氏でございますが、平成27年3月に玖波小学校長を退職された後、令和5年4月から大竹市教育委員会外部評価専門委員を務めておられます。

令和元年10月から補充員として名簿登録されています。

次に、大橋綾子氏でございますが、令和3年3月に小方小・中学校長を退職された後、令和5年4月から大竹小学校非常勤講師を勤めておられます。

次に、金子しのぶ氏でございますが、令和元年3月に大竹市福祉課長を退職された後、現在に至っておられます。

最後に、小松正二氏でございますが、平成26年3月に大竹市監査事務局長を退職された後、現在に至っておられます。

なお、補充員の名簿の左端の列に順序と書いてあります。これは、選挙管理委員会委員に欠員が生じた場合に補充する順位を記載しているものでございます。

以上でございます。

○西村委員長 ただいま事務局から説明がございましたが、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 質疑なしと認めます。それでは、お諮りをいたします。本件を議長による指名推薦とすることで、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

続きまして、日程3、決算特別委員会の設置についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

局長。

○山田議会事務局長 決算特別委員会につきましては、本会議の最終日において、議長が設置及び閉会中の継続審査をお諮りし、委員を指名と考えております。

本会議終了後、決算特別委員会を開催し、正・副委員長の互選、審査日程等について協議を行っていただくことになろうかと考えております。

以上でございます。

○西村委員長 ただいまの事務局の説明につきまして、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 質疑はないようでございます。それでは、お諮りをいたします。本件の取り扱いについて、事務局案のとおり決して御異議ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

続きまして、日程4、常任委員会の閉会中の継続審査についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

局長。

○山田議会事務局長 常任委員会の閉会中の継続審査について御説明申し上げます。

各常任委員会では、今議会の閉会后、所管事務につきまして、管内視察及び管外の先進地の事例を調査研究について御協議されておりますが、閉会中の委員会活動となるため、議会の議決が必要になってまいります。

このため、9月27日の本会議最終日におきまして、閉会中の継続審査につきまして、決定していただくことになろうかと考えております。

以上でございます。

○西村委員長 ただいま、事務局から説明がございましたが、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 質疑はないようでございます。それでは、お諮りいたします。事務局案のとおり決して、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

続きまして、日程5、議員派遣についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

局長。

○山田議会事務局長 それでは、議員派遣につきまして御説明いたします。

議員派遣について（案）をご覧ください。

令和5年10月30日に、岡山市におきまして第153回中国市議会議長会臨時会が開催される予定となっております。これに寺岡副議長が出席予定ですので、議員派遣の対象となります。

最終日に、即決ということで考えております。

以上でございます。

○西村委員長 ただいまの説明について、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 質疑がないようでございますので、事務局の説明のとおり本会議で手続を行うことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

本日の協議・連絡事項について、会派の代表におかれましては、各会派所属の議員に、御周知をお願いします。

また、執行部におかれましても、本日の内容について、内部で御周知いただきますよう、お願いをいたします。

以上で、本日の予定されていた日程は、全て終了いたしました。

以上で、議会運営委員会を閉会といたします。御苦労さまでした。

13時17分 閉会